

## 《 一般社団法人 National Clinical Database への本登録事業参加について 》

このたび日本外科学会を基盤とする外科系の学会が共同して、日本全国における外科手術症例のデータベース化事業が行われることになりました。これに伴い、独立した機関として一般社団法人 National Clinical Database(以下 NSD)が設立され、今後は日本における殆どの外科手術症例に関する情報が本機関に登録されることとなります。当院におきましても本登録事業に参加することになりましたので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

### (1) 本事業への参加について

平成 23 年 1 月 1 日以降、当院外科系診療科(外科、小児外科、呼吸器外科、心臓血管外科)で手術を受けられるすべての患者さまの自由な意思に基づくものであり、参加されたくない場合は、データ登録を拒否して頂くことができます。なお、登録を拒否されたことで、日常の診療等において患者さまが不利益を被ることは一切ございません。NSD への諸例登録を希望されない方は主治医にお申し出ください。

### (2) データ登録の目的

患者さまに向けたより良い医療を提供する上では、医療の現状を把握することは重要です。NSD では、体系的に登録された情報に基づいて、医療の質改善に向けた検討を継続的に行います。NSD 参加施設は、日本全国の標準成績と対比をする中で自施設の特徴と課題を把握し、それぞれが改善に向けた取り組みを行います。国内外の多くの事例では、このような臨床現場主導の改善活動を支援することにより、質の向上に大きな成果を上げています。

### (3) 登録される情報の内容

登録される情報は日常の診療で行われている検査や治療の契機となった診断、手術等の各種治療やその方法等となります。これらの情報は、それ自体で患者さま個人を容易に特定することはできないものですが、患者さまに関わる重要な情報ですので厳重に管理いたします。情報の取り扱いや安全管理にあたっては、関連する法令や取り決め(「個人情報保護法」、「疫学研究の論理指針」、「臨床研究の論理指針」等)を厳守しています。登録されたご自身のデータをご覧になりたい場合は、受診された診療科にお問い合わせ下さい。

### (4) 登録される情報の使われ方

登録される情報は、参加施設の治療成績向上ならびに皆さまの健康の向上に役立てるために、参加施設ならびに各種臨床領域にフィードバックされます。この際に用いられる情報は集計・分析後の統計情報のみとなりますので、患者さま個人を特定可能な形で、NSD がデータを公表することは一切ありません。情報の公開にあたっては、NSD 内の委員会で充分議論し、そこで承認を受けた情報のみが公開の対象となります。

### (5) お問い合わせ

本事業に関するお問い合わせは、受診されている診療科または NSD 事務局(NSD ホームページ)までご連絡をお願い致します。